

2024年2月27日

南九州畜産獣医学拠点における次世代モビリティ活用のための 実証事業に関する連携協定調印式について

鹿児島トヨタ自動車株式会社（代表取締役社長：柳園 久志）と鹿児島県曾於市（市長：五位塚 剛）は、南九州畜産獣医学拠点（以下、「スクラブ」）における次世代モビリティの整備・運営を通して有効活用のための実証事業を行うことによる地方創生の実現に向けて、双方の資源を有効に活用し、相互に連携・協力することを目的として、次世代モビリティ活用のための実証事業に関する連携協定を2月27日に締結しました。

連携協定の内容

- スクラブへ次世代モビリティの整備により
 - ・新たな住民サービスへの展開可能性の実証に関すること。
 - ・災害時の活用に関する実証に関すること。
 - ・SDGsの浸透・普及のための啓発に関すること。
- 曾於市の各種事業計画策定における他自治体の導入事例や先進技術情報の提供に関すること。
- その他、両者が協議して前条の目的を達成するために必要と認める事項に関すること。

C+Walk やC+Pod の活用による移動負担の軽減や施設の維持管理などの実証。停電時の非常用電源として電気自動車やハイブリッド車の活用に関する実証事業も行い脱炭素や環境負荷軽減に繋がることを期待します。

